

氏名	小林憲生	部署	共通教育	職名	教授
研究分野	昆虫学 進化生物学				
学位	博士（理学）				
学歴	1992年北海道教育大学卒業、 1994年静岡大学大学院農学研究修士課程修了、2000年北海道大学理学研究科博士後期課程修了				
経歴	2002年4月-2006年3月 日本学術振興会 特別研究員 2006年4月-2011年3月 北海道大学総合博物館 資料部研究員 2011年4月-2019年3月 埼玉県立大学 共通教育科 准教授 2019年4月-現在 現職				
所属学会（役職）	日本動物学会、日本昆虫学会、日本進化学会、日本甲虫学会（欧文誌編集委員）				

【2025年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	生物学	○	15	教養教育を意識した生物学のオンデマンド講義を行った		
2	埼玉研究		8	生物多様性分野の教材開発及び講義を行った		
3	スタートアップセミナー①②		15	円滑な学生生活が送れることを意識した授業運営を行った		
4	生命の意味	○	8	「生命」を様々な角度から理解することを目標とした講義を行った		
5	人間の探求		8	様々な角度から人間を考える講義を実践した		
6	教養ゼミナール③	○	16	生態学的な観点に基づいた講義実験を実施した		
7	分子細胞生物学		2	進化学的な観点に基づいた講義を担当した		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	幼児と環境	○	15	科学に対する興味・関心を抱かせることを目標とした授業を行った		
(3) 実習						
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	自然科学実験		学内実習：8	生物学分野に関わる実習教材の開発及び実験指導を行った		
2	生物学実験		学内実習：22.5	学生の理解や嗜好性・自主性を考慮したうえで、学生実験を行った		
(4) 論文指導						
	対象	期間		主指導・副指導の別及び指導人数		
1	該当なし			名	名	

(5) その他			
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし		
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師			
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ 開催年月
1	高校生開放授業	埼玉県立大学	自然科学実験 4－7月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉大学	遺伝子組換え実験安全委員会	2013.11-現在
2	日本甲虫学会	欧文誌編集委員	2011.04-現在
3	草加市	環境審議会 副議長	2019.06-現在
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	初年次科目担当者会 会長代理	2024.4-現在
2	全学的委員会及びセンター業務等	初年次科目担当者会 教務委員	2024.4-現在
3	全学的委員会及びセンター業務等	カリキュラム検討部会員（初年次科目担当）	2024.4-現在
4	学科等における委員会等	共同実験管理部会 副部会長	2019.4-現在
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		